

# 当面の技術対策（畜産編）

令和4年7月1日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1 一番草収穫後の草地管理

### (1) ギシギシ類の駆除

ギシギシ類を駆除する場合は、ギシギシの葉が「手のひらくらいの大きさ」に展開してから薬剤を散布しましょう。散布時期は1番草収穫後2～4週間が目安となります。

除草剤名	処理方法	使用時期	10a 当り 製品使用量	注意事項
ハーモニー 75DF 水和剤	雑草 茎葉 散布	ギシギシ 類の草丈 20cm 以下	新播 0.5～1.0g 経年 3g (水 100ℓ)	1. クローバーに対する葉害が著しい。 2. 散布後 21 日間は採草および放牧を行わない。 3. 高温時の散布はイネ科牧草の生育停滞が著しい。

※ 使用後のタンク等は必ず専用の洗浄剤を使用して洗浄してください。

### (2) ふん尿貯留施設周辺の除草

ふん尿貯留施設周辺に発生した雑草の種はふん尿散布によりほ場に侵入し、発芽する場合があります。雑草が種を付ける前に除草を行いましょう。

### (3) 追播

除草後にできた裸地をそのままにすると再び雑草が繁茂する可能性があるため、追播を行いましょう。

## 2 サルモネラ症対策

急な気温上昇により、牛の免疫力が低下しています。以下の点を参考にサルモネラ症対策を徹底しましよう。

	対策方法の具体例	
暑熱対策	・塩、ミネラル、ビタミンの増給 ・重曹の給与（自由摂取）	・エサの掃き寄せ回数を増やす 等
衛生対策	・石灰帯と踏み込み消毒槽の設置 ・残飼掃除と給水施設の掃除 ・除ふん頻度を増やす（とくに乾乳牛舎、ほ育牛舎）	・洗剤によるほ乳器具の洗浄 ・カーフハッチ、ペンの石灰塗布 等

